

2021年3月期第1四半期 決算説明資料

2020年8月
株式会社NexTone
東証マザーズ コード：7094

会社概要

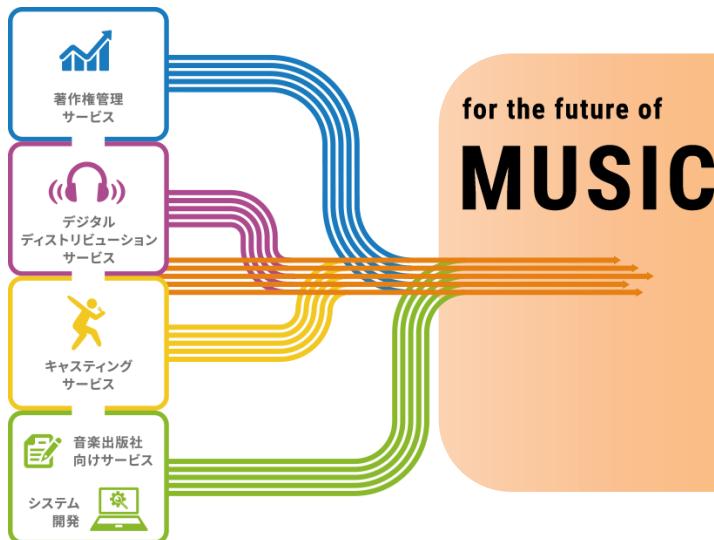
会社概要

社 名	株式会社NexTone [英語名 : NexTone Inc.]			
代 表 者	代表取締役CEO 阿南 雅浩			
設立年月	2000年9月 (2016年2月、イーライセンスとJRCが合併してNexToneに商号変更)			
本社所在地	東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー20F			
資 本 金	1,113,012千円 (2020年6月末)			
役員構成	代表取締役CEO 代表取締役COO 専務取締役 社外取締役 社外取締役	阿南 雅浩 荒川 祐二 名越 穎二 高橋 信彦 升本 喜郎	常勤監査役 社外監査役 社外監査役	佐藤 俊樹 小林 伸之 大嶋 敏史
事業内容	著作権等管理事業/キャスティング事業/その他			
売上規模	4,345,481千円 (2020年3月期)			
従業員数	71名 (2020年6月末)			
総資産	4,246,891千円 (2020年3月末)			
主な取引先	エイベックス・グループ、(株)ドワンゴ、(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント、(株)ワーナーミュージック・ジャパン、iTunes(株)、Google(株)、(株)レーベルゲート、(株)レコチョク、他			

事業のコンセプト

経営理念

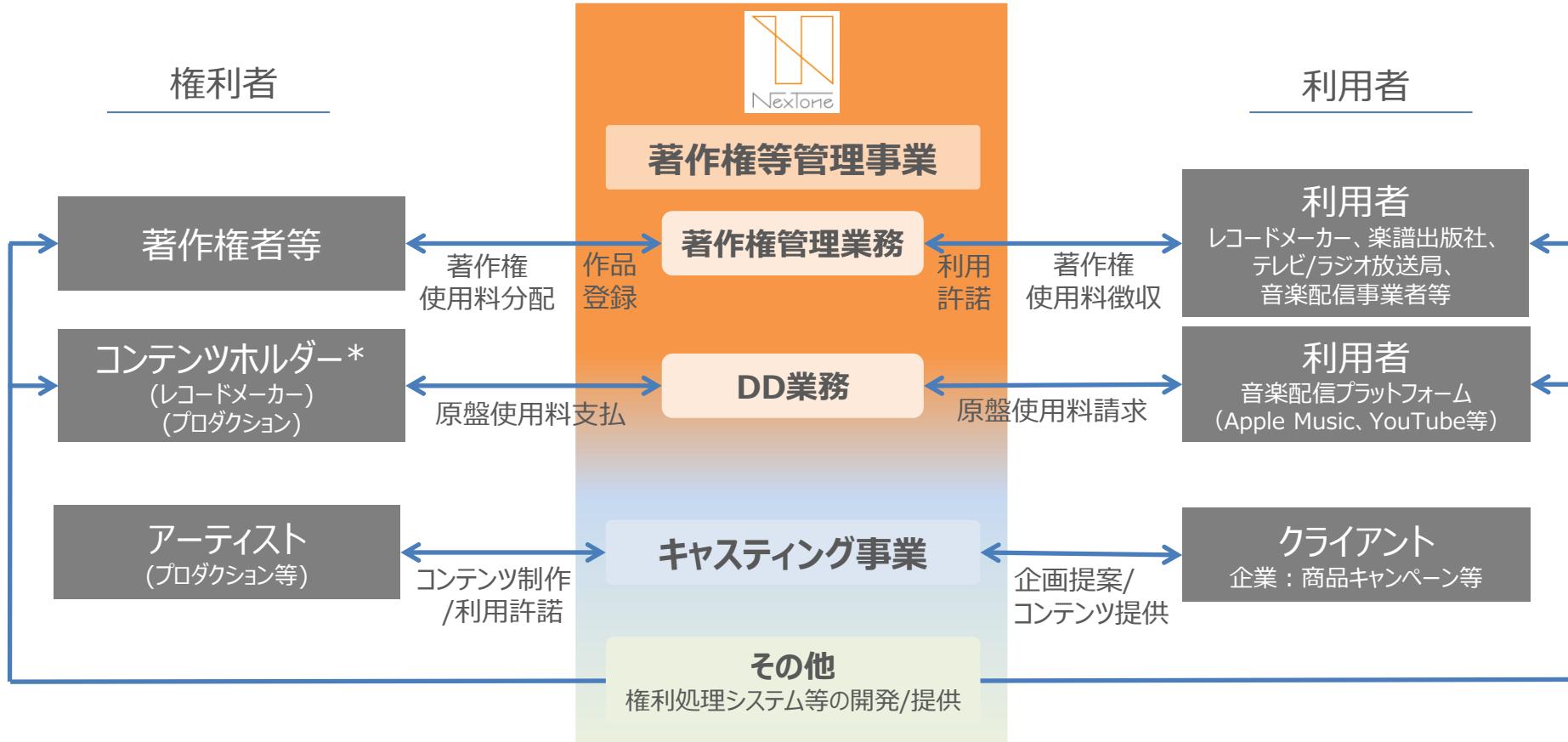
権利者に選ばれ、
利用者から支持される
著作権管理事業者となる。



楽曲著作権者と利用者との間に立ち、
著作権の管理と利用促進を推進する
著作権エージェント

ビジネスフロー

- ✓ 当社は著作権管理、配信音源供給、キャスティングに専念し、ユーザーと権利保有者との仲介エージェントとして機能
- ✓ 基本的に利用者より使用料を徴収し、コンテンツホルダー他に分配



*2019年3月現在で600社以上

特徴と強み ①オンリー・ワンの挑戦者

- ✓ 2000年の法改正により、30社程度が新規参入を表明
- ✓ しかし、当社以外の新規参入社は全て実質事業を縮小。現在は、JASRACと当社の実質2社体制
- ✓ 日々の膨大な著作権利用に係るデータや情報のシステム管理と具体的料金徴収及び分配金支払業務はかなりの負担。新規参入障壁は高い

著作権管理事業への参入障壁

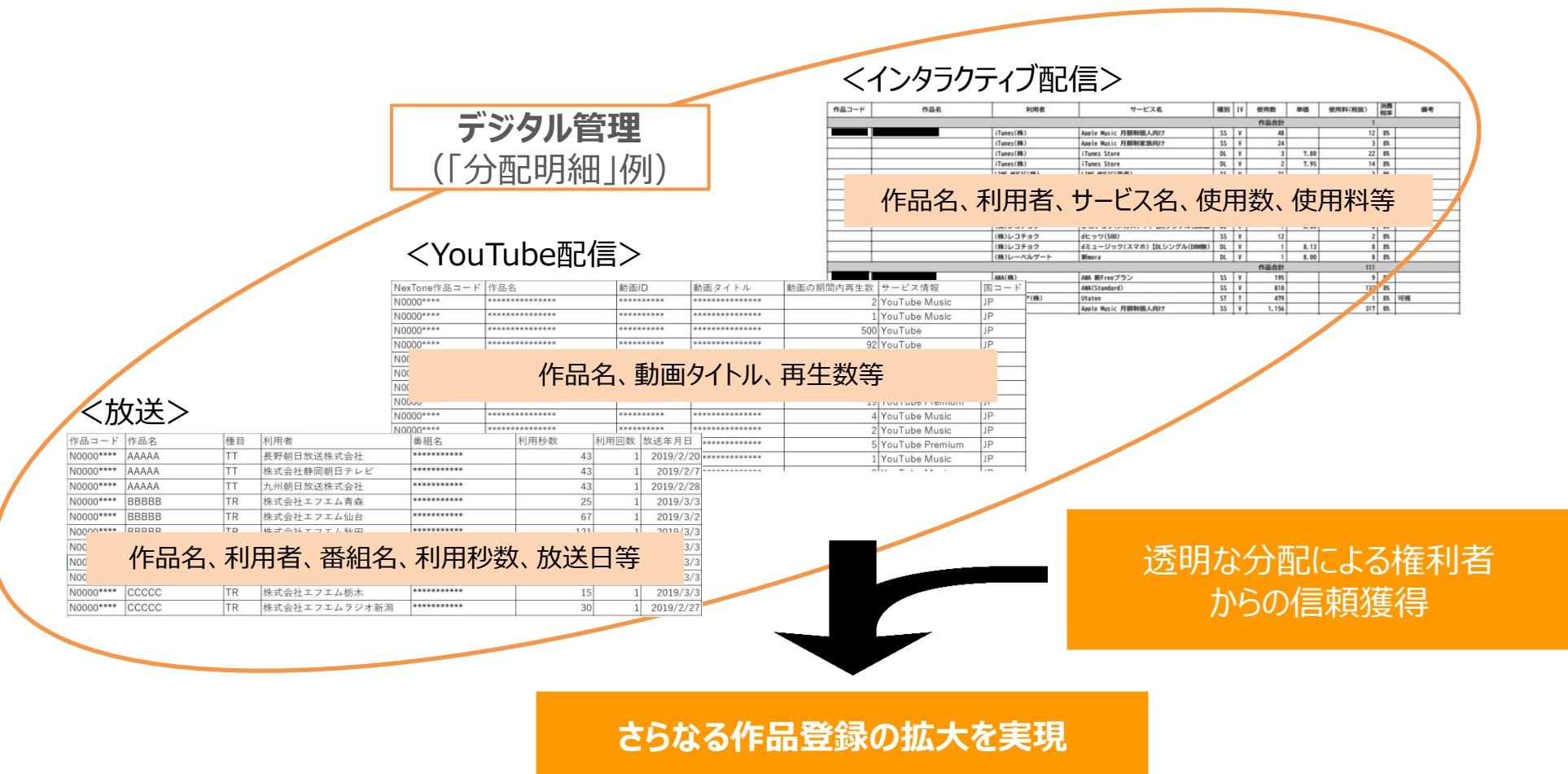
- ① 著作権管理は手数料5.0~9.8%の低収益事業
- ② 日々の膨大かつ複雑な著作権利用に係るデータや情報のシステム管理能力が必要
- ③ 手数料徴収及び権利者への分配金支払の膨大な実務能力が必要

2000年の法改正で
28業者が登録するも、
**現在は
実質上の撤退状態**

当社は数少ない「生き残り」の民間企業
JASRACと当社の実質2社体制へ

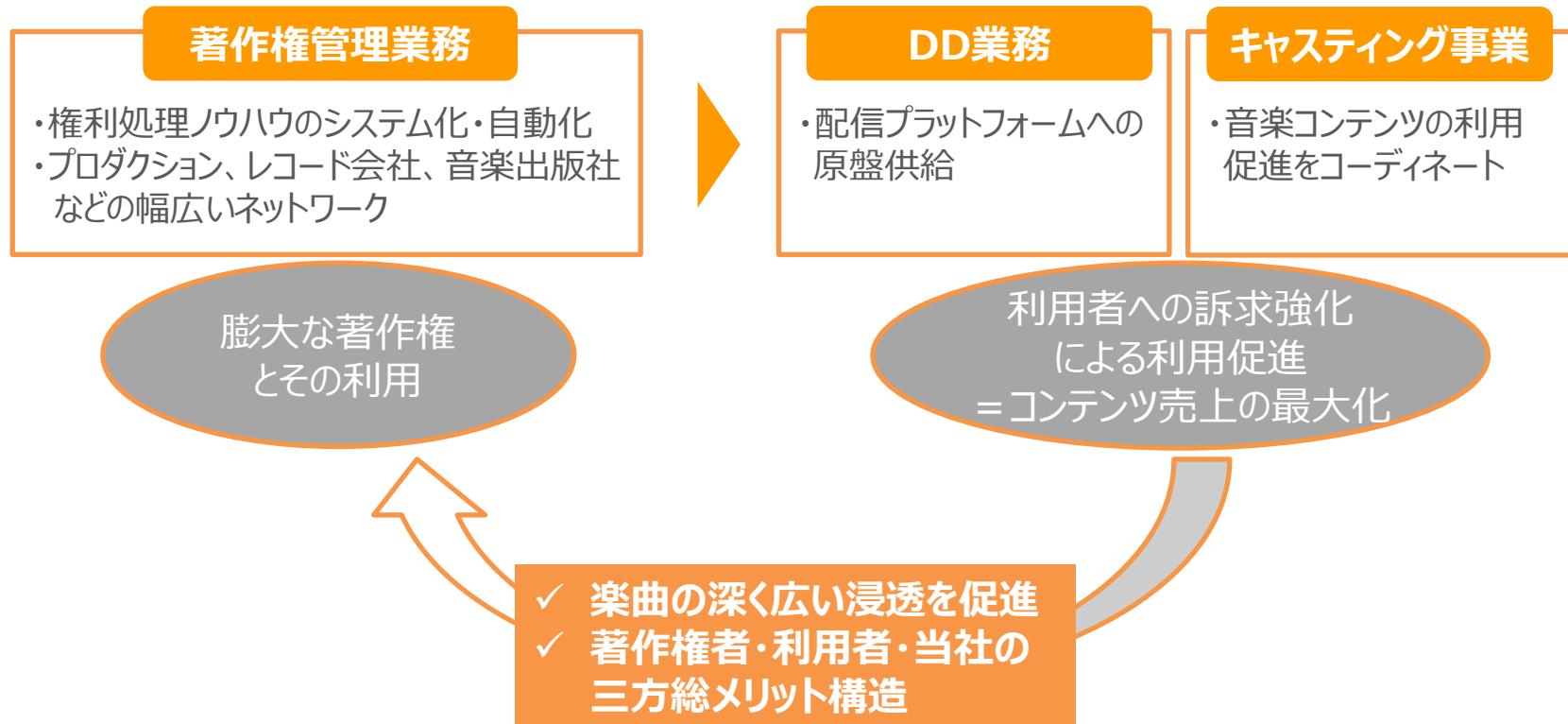
特徴と強み ②分配金管理システムの高い透明性

- ✓ 作品名、利用者、使用数等の「分配明細」を定期的に権利者に開示するデジタル管理システムを構築
- ✓ 利用状況が明確となるため、著作権使用料の確認だけでなく、マーケティングデータとしても活用可能



特徴と強み ③利用促進のプロモーター

- ✓ 楽曲の利用状況データは利用促進への重要なアセットとしても活用
- ✓ データを活用した配信プラットフォームへの原盤供給（DD）やキャスティングにより、楽曲の浸透速度を加速
- ✓ 著作権の管理のみならず、利用促進まで手がけ「権利者に選ばれ、利用者から支持される」経営理念実現へ



2021/3期第1四半期決算概要

新型コロナウイルス感染拡大による影響

■ 現在、顕在化している影響

- (+) 巣ごもり需要により、音楽聴取ニーズはむしろ拡大
 - (-) キャスティング事業のイベント関係は4月以降、延期・中止状態
- 2021/3期1Q決算ではトータルの業績面ではややプラス

■ 今後、予想される影響

- (+) 音楽配信や動画配信等のホームエンタテインメントのニーズの追い風は継続
 - (-) キャスティング事業などはイベントの自粛・延期・中止などが逆風
- 2021/3期見通しでは影響は (+-) ほぼ相殺と想定

2021/3期第1四半期決算概要

- ✓ 51%増収、105%営業増益。想定に対しては超過達成
- ✓ 好調の主因は著作権等管理事業の大幅伸長
- ✓ 見通しに対する進捗率は想定を上回るもの、通期は予想通りの着地を見込む

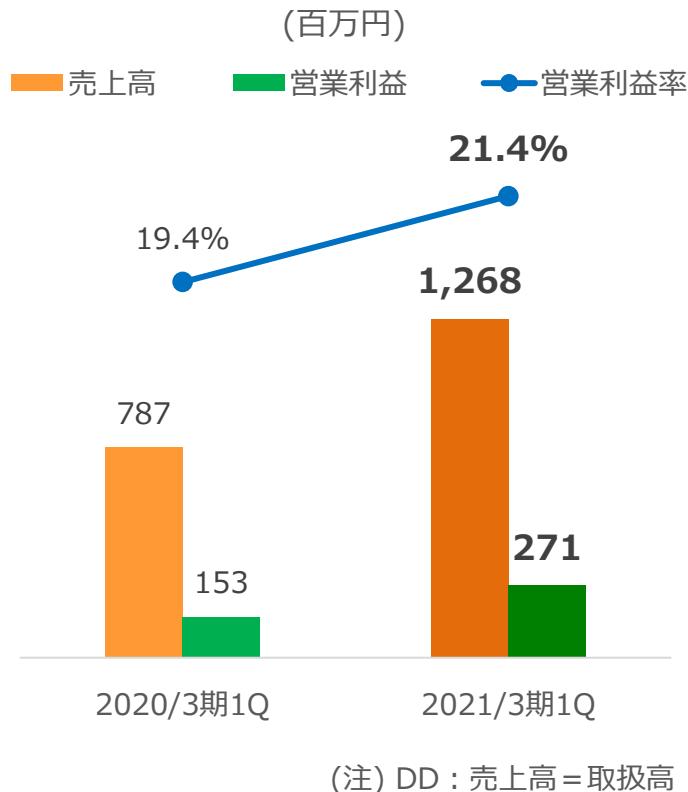
(百万円)	2020/3期 1Q実績 (参考情報※)	2021/3期 1Q実績	前年 同四半期比 増減率	2021/3期 通期見通し	進捗率
売上高	855	1,294	51.3%	5,600	23.1%
著作権等管理	787	1,268	61.1%	4,900	25.9%
キャスティング	34	3	▲91.2%	600	0.5%
その他	32	22	▲31.3%	60	36.7%
営業利益	59	121	105.1%	380	31.8%
著作権等管理	153	271	77.1%	670	40.4%
キャスティング	5	▲7	—	10	—
その他	4	10	150%	30	33.3%
親会社株主帰属 四半期純利益	46	82	78.3%	220	37.3%
営業利益率	7.0%	9.4%	+2.4p	6.8%	—

※ 当社は2020年3月30日に上場したため、2020/3期1Q実績は参考情報として記載しております

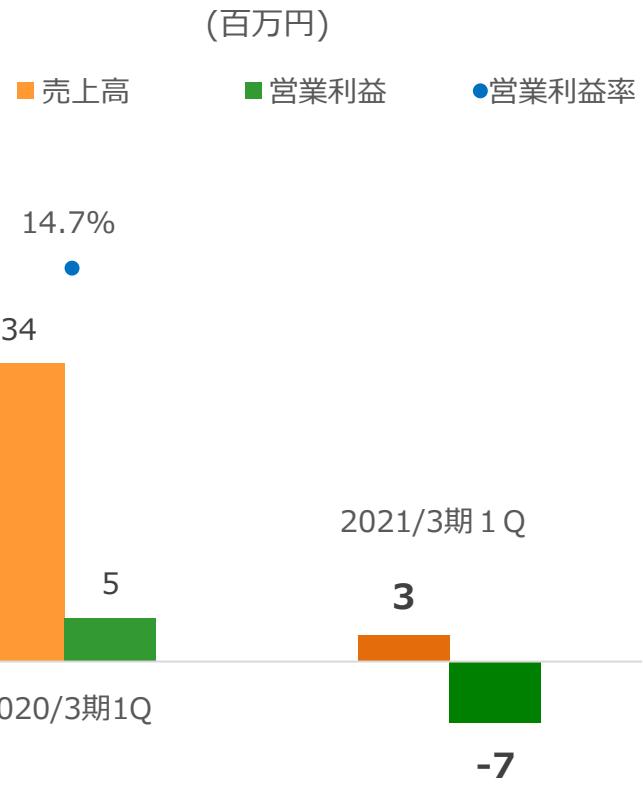
セグメント別業績

- ✓ 主力の著作権等管理事業は好調
- ✓ キャスティング事業売上高では、ライブビューイングなどのイベント案件の延期・中止および大型プロジェクトで一つの案件満了が影響し減収

著作権等管理事業



キャスティング事業

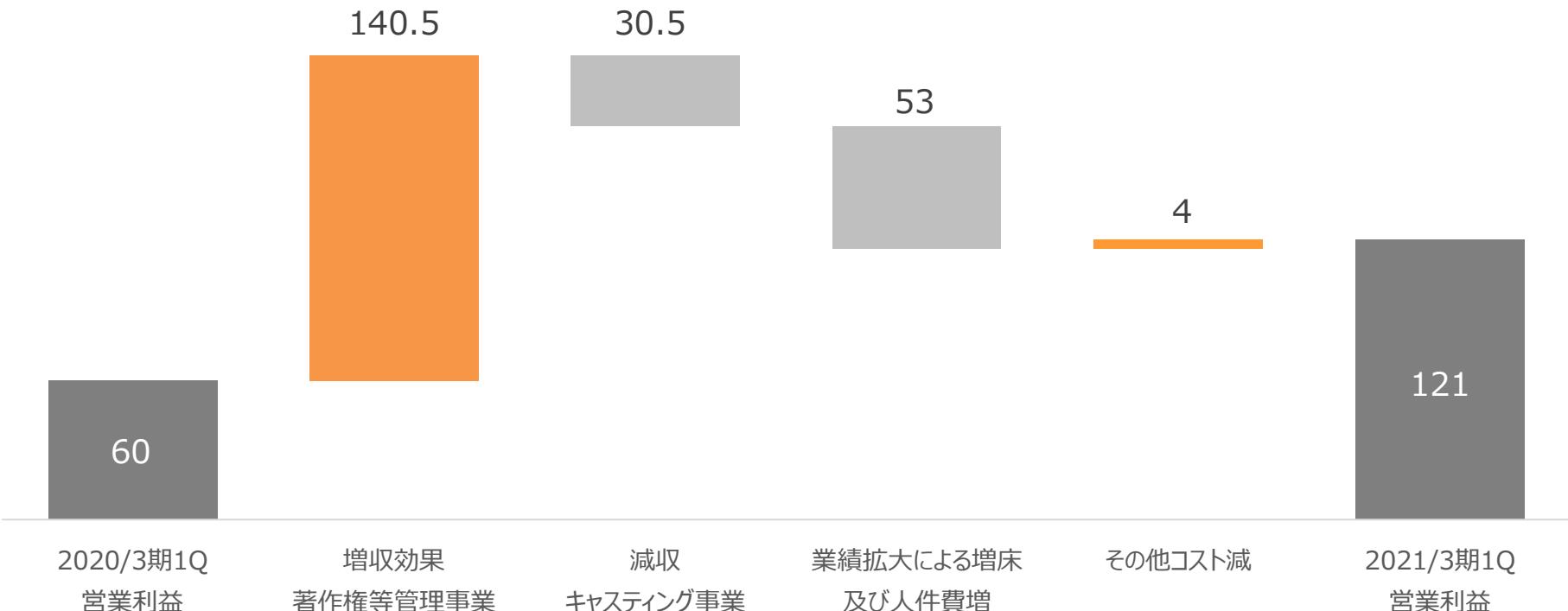


営業利益増減要因分析

- ✓ 大幅増益の主因は著作権等管理事業の売上拡大による増収効果。他方でコロナ禍の影響でキャスティング事業は減収だったが、著作権等管理事業の増収により吸収
- ✓ 一方、コスト面では業績拡大に伴う人件費増や増床による家賃増などが発生。しかし、これらコスト上昇は著作権等管理事業の売上増による増益寄与で吸収し、営業利益は倍増

営業利益増減要因分析

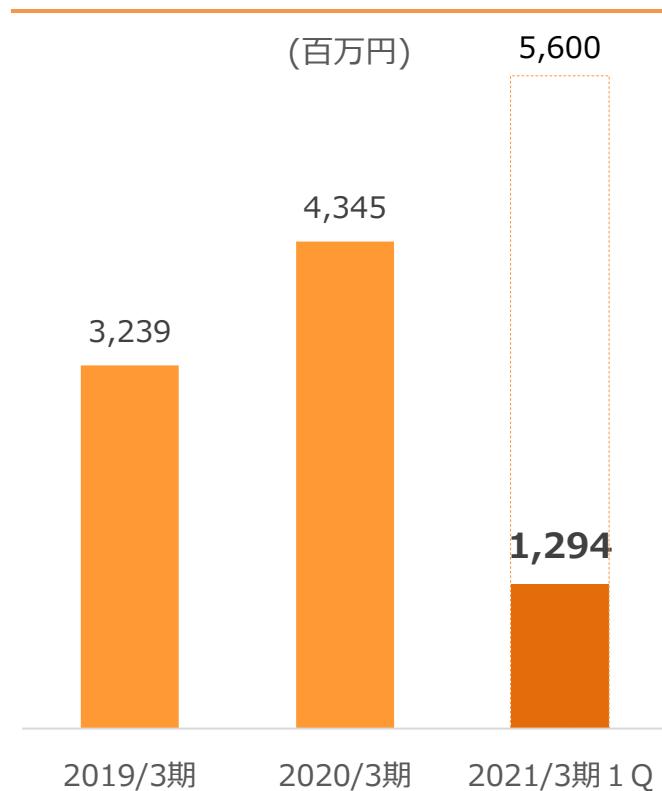
(百万円)



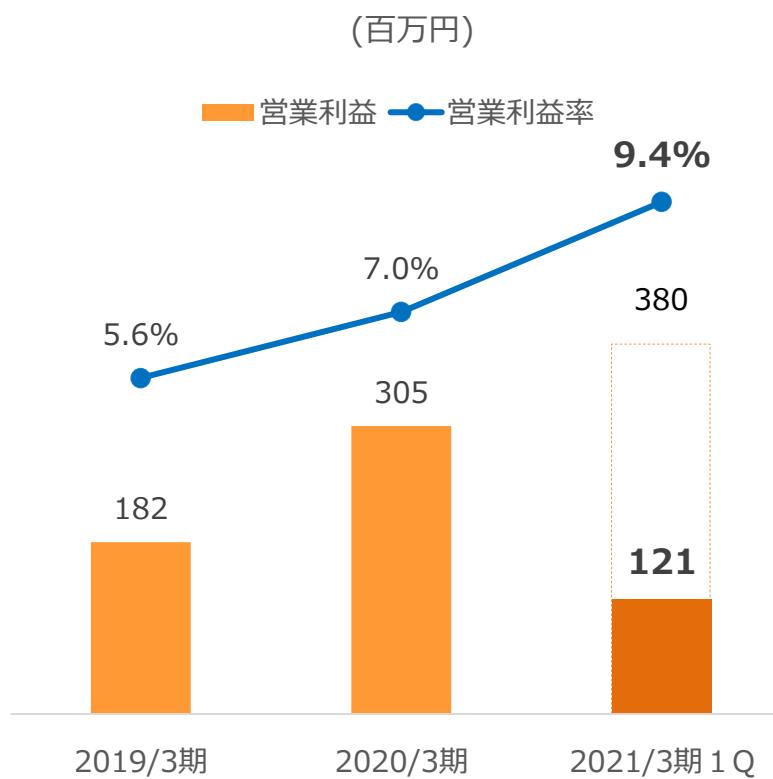
中期業績推移

- ✓ 2016年のNexTone発足以降、売上高は年率4割弱で成長。直近期もその成長ピッチを維持
- ✓ インタラクティブ配信の伸長などを牽引役に、2018/3期以降は過去最高益を連続更新中

売上高



営業利益、営業利益率

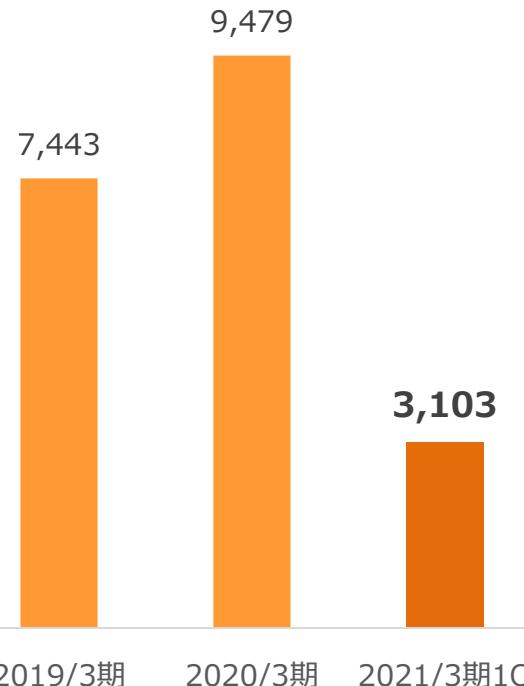


事業規模の推移

- ✓ 取扱高（総入金額）は毎期拡大、前期は27%増加
- ✓ 取扱高の基礎となる管理作品数および取扱原盤数は順調に拡大
- ✓ 既存作品の管理獲得に加え、新規作品の取込みも進展

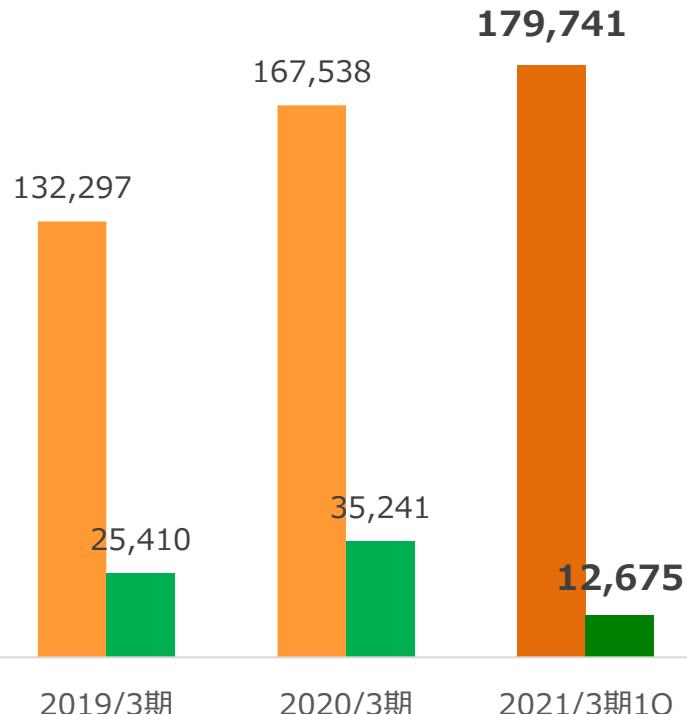
取扱高

(単位：百万円)



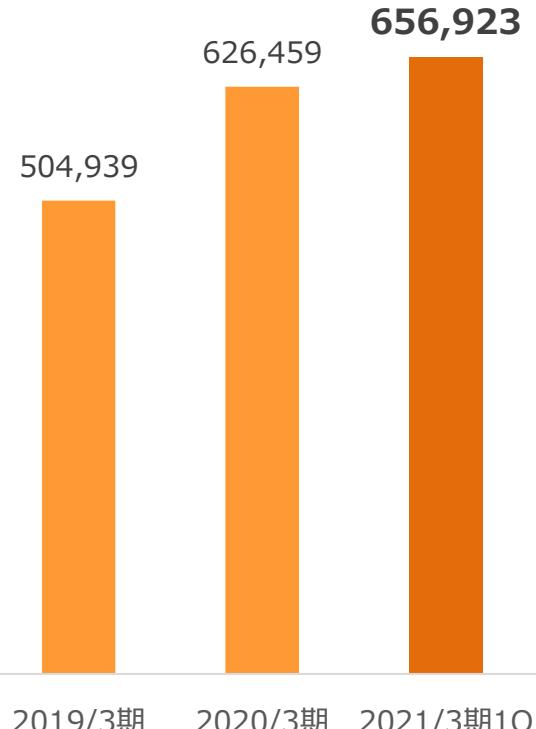
著作権管理作品数

■ 管理作品数（曲） ■ 期中新規作品数（曲）



取扱原盤数

(単位：原盤)

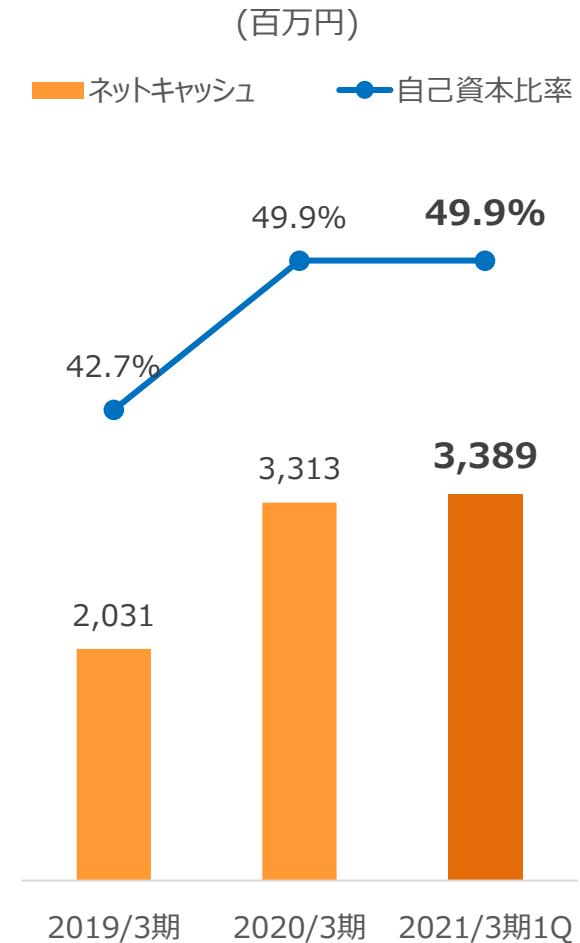


バランスシートの状況

- ✓ 無借金経営を継続。増資資金収入も加わり、ネットキャッシュは33億円と総資産の約8割を占める
- ✓ 負債勘定では、著作権管理業務の事業拡大に応じた未払金が増加。期末の自己資本比率は50%

(百万円)	2019/3期	2020/3期	2021/3期1Q	前期末比増減
流動資産	2,594	3,630	3,757	+127
現預金	2,031	3,313	3,389	+76
売掛債権	441	175	169	▲6
前渡金	104	82	86	+4
固定資産	541	615	656	+41
無形固定資産	432	476	499	+23
総資産	3,135	4,246	4,413	+167
負債	1,792	2,126	2,209	+83
買入債務	565	505	477	▲28
有利子負債	0	0	0	±0
未払金	810	1,112	1,362	+250
前受金	142	99	78	▲21
純資産	1,343	2,120	2,203	+83
負債純資産合計	3,135	4,246	4,413	+167

財務状況の推移



中期展望

中期展望イメージ

- ✓ 管理曲数の拡大と利用促進、さらに海外徴収・演奏権市場参入などによる相乗効果の早期発現を追求
- ✓ より強力で総合的な「著作権エージェント」を目指す

